

名古屋市立当知小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、5月25日(火)に名古屋市立当知小学校、3年生2クラス(66名)を対象に出前講座を実施しました。

講座のねらいは、藤前干潟に生息する生きものに関心を持ち、環境問題について学ぶことです。今回の講座では、クイズをはさみながら、干潟の仕組みや成り立ち、シジミの浄化実験や干潟の鳥類・底生生物について紹介しました。シジミの浄化実験では、実際にシジミがきれいにした水を目の前で観察し、児童から驚きの声があがっていました。児童は事前に藤前干潟のワークブックを用いて学習しており、浄化実験の結果も知っていましたが、実際に観て学ぶことの大切さを感じました。最後に、藤前干潟が現在かかえている問題として、漂着ゴミが生きものに与える影響についても紹介し、ゴミ問題をどうしていったら良いのか、皆さんに考えてもらうことを宿題にしました。講座の間、一つ一つの問いかけに積極的に答えてくれる姿がとても印象的でした。

当知小は、後日、実際に稲永ビジターセンターに来館し、生きものを見たりする体験学習を予定しています。来館の際には、事前学習や今回の出前講座の内容を思い出しながら、さらに学習を深めてほしいと思います。

また、今回をきっかけに、藤前干潟の大切さや、直面しているゴミ問題について、ぜひ皆さんで考えてみてください。

2) 講座の内容

テーマ：「藤前干潟 生き物の魅力にせまる」

1. 干潟ってどんなところ？
2. どんな生きものがあるの？
シジミの浄化実験、鳥類・底生生物の紹介
3. 藤前干潟がこまっている?!
漂着ゴミの問題
4. 質問タイム



*元気に質問に答える児童



*シジミの浄化実験を確認する様子

3) 実施概要

実施日：令和3年5月25日(火)13:40~15:20

(5時限~6時限、各クラス1時限ずつ)

場所：名古屋市立当知小学校(港区)

対象：小学校3年生(2クラス、66名)、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所

(TEL:052-389-2877)までお問い合わせください。

令和3年5月27日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 西部理恵